



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 日本郵船株式会社 上場取引所 東
コード番号 9101 URL <https://www.nyk.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 貴也
問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 岡田 泰章 TEL 03-3284-5151
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト及び機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,168,335	△14.5	98,786	△39.5	159,297	△79.2	113,390	△83.9
2023年3月期第2四半期	1,365,878	29.9	163,336	38.5	765,329	92.7	706,058	71.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 326,944百万円 (△65.6%) 2023年3月期第2四半期 950,812百万円 (118.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 224.99	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	1,391.01	—

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,018,960	2,688,714	65.9
2023年3月期	3,776,797	2,524,993	65.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,647,186百万円 2023年3月期 2,478,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	1,050.00	—	170.00	—
2024年3月期	—	60.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。2023年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しています。なお、株式分割を考慮した場合の2023年3月期の第2四半期末配当は350円00銭、1株あたり年間配当金は520円00銭となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,280,000	△12.8	165,000	△44.3	235,000	△78.8	220,000	△78.3	441.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	510,165,294株	2023年3月期	510,165,294株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	18,925,372株	2023年3月期	1,991,890株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	503,988,216株	2023年3月期2Q	507,586,736株

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提：

為替レート（第3四半期連結会計期間）145.00円/US\$、（第4四半期連結会計期間）142.00円/US\$、（通期）141.72円/US\$

燃料油価格 ※（第3四半期・第4四半期連結会計期間）US\$624.00/MT、（通期）US\$614.20/MT

※ 適合油を含む全油種平均消費燃料油価格を基に算出

本業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2～5ページを参照してください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は2023年11月6日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。同説明会の動画や資料等につきましては、速やかに当社ウェブサイト（<https://www.nyk.com/ir/library/result/2023/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
3. その他の情報	14
(1) 四半期毎の業績の推移	14
(2) 為替情報	14
(3) 有利子負債残高	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:億円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	13,658	11,683	△1,975	△14.5%
営業利益	1,633	987	△645	△39.5%
経常利益	7,653	1,592	△6,060	△79.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,060	1,133	△5,926	△83.9%

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日までの6ヶ月間)の業績は、連結売上高1兆1,683億円(前年同期比1,975億円減)、営業利益987億円(前年同期比645億円減)、経常利益1,592億円(前年同期比6,060億円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,133億円(前年同期比5,926億円減)となりました。

なお、営業外収益で持分法による投資利益として591億円を計上しました。うち、当社持分法適用会社 OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. (“ONE社”)からの持分法による投資利益計上額は373億円となります。

当第2四半期連結累計期間の為替レートと消費燃料油価格の変動は以下のとおりです。

	前第2四半期 (6ヶ月)	当第2四半期 (6ヶ月)	差額
平均為替レート	131.56円/US\$	139.93円/US\$	8.37円 円安
平均消費燃料油価格	US\$839.95/MT	US\$604.38/MT	US\$235.57 安

(注) 為替レート・消費燃料油価格とも、当社社内値です。

(セグメント別概況)

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

(単位：億円)

		売上高				経常利益		
		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
ロ ジ ス テ ィ & ク ス 事 業	定期船事業	1,012	1,117	104	10.3%	5,666	467	△5,199
	航空運送事業	1,239	778	△460	△37.2%	439	3	△436
	物流事業	4,744	3,386	△1,357	△28.6%	371	137	△234
不定期専用船事業		6,164	5,928	△235	△3.8%	1,185	1,031	△154
そ の 他 事 業	不動産業	17	15	△1	△10.0%	8	7	△0
	その他の事業	1,252	1,067	△184	△14.7%	14	1	△13

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、各セグメントに帰属する利息額等の算定方法を変更しています。各セグメントの売上高に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間の経常利益は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しています。

<定期船事業>

コンテナ船部門では、例年夏場は季節的な需要期となるにもかかわらず、北米における在庫の積み上がり、欧米を中心とした金利の上昇やインフレ等の影響に伴い貨物需要が低迷しました。また、新造船の竣工等により船舶供給量も増加したことから、市況は前年同期比で悪化しました。ONE社においても前年同期比で運賃が下落し、利益水準が低下しました。

国内ターミナルでは、前年同期に比べコンテナ船のスケジュールが正常化したことで取扱量は増加しました。海外ターミナルでは、低調な荷動きにより取扱量は前年同期比で減少しました。

以上の結果、定期船事業全体では前年同期比で増収減益となりました。

なお、9月末に北米西岸ターミナルの関係会社株式を全て売却し、特別利益を計上しました。

<航空運送事業>

航空運送事業では、荷動きが前年同期比で減少するとともに、国際旅客便の回復により供給スペースが増加したことで需給が緩み、前年同期と比較して運賃水準が低下しました。

以上の結果、航空運送事業では前年同期比で減収減益となりました。

<物流事業>

航空貨物取扱事業では、前年同期比で国際旅客便の回復により供給スペースが増加する中、需要は低調に推移し、荷動きは減少しました。機動的な購買により仕入れ価格の抑制に努めたものの、取扱量及び利益水準は前年同期比で大きく減少しました。

海上貨物取扱事業では、アジア域内及びアジア発長距離航路を中心に荷動きが低迷し、取扱量及び利益水準は前年同期比で減少しました。

ロジスティクス事業では、欧州域内でのEコマース・ヘルスケア・自動車関連産業の好調な荷動きや、北米域内における一般消費財の底堅い需要により、堅調に推移しました。

以上の結果、物流事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

<不定期専用船事業>

自動車事業部門では、労働者不足等に起因する港湾混雑やパナマ運河の通航制限が続く中、完成車生産台数の回復及び各国での堅調な販売需要により需給が逼迫しました。そのような環境下、当社では効率的な配船計画により船舶の稼働率を向上させ、輸送台数は前年同期比で増加しました。自動車物流でも、欧州やメキシコ、東南アジア一部地域において取扱量が前年同期比で増加しました。また、インドネシアにおいて新たにターミナル事業への投資を実施するなど、成長市場での事業拡大を進めました。

ドライバルク事業部門では、ケープサイズは、中国の景気低迷の影響を受け、市況は前年同期の水準をやや下回りました。パナマックスサイズ以下は、石炭と穀物の荷動きは堅調だったものの、市況は好調だった前年同期の水準を下回りました。このような環境下、先物取引を用いた市況変動リスク低減に取り組み、長期契約獲得による収入の安定化と効率的な運航によるコスト削減に努めました。

エネルギー事業部門では、VLCC(大型原油タンカー)は、7月以降は主要産油国による減産や季節的な不需要期に入ったことで市況は軟化しましたが、堅調だった第1四半期に支えられ、前年同期の水準を上回りました。石油製品タンカーは、引き続きロシア・ウクライナ情勢の影響によりトレードパターンが変化し、輸送距離が伸びたことで船腹需給が引き締まりました。VLGC(大型LPGタンカー)は、米国からアジア地域への長距離輸送が増加し、またパナマ運河の通航制限の影響を受け船腹需給が引き締まり、市況は9月に過去最高値を更新し、前年同期の水準を大きく上回りました。LNG船は、安定的な収益を生む長期契約に支えられて順調に推移しました。海洋事業は、FPSO(浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)、ドリルシップ、シャトルタンカーが順調に稼働しました。

以上の結果、不定期専用船事業全体では前年同期比で若干の減収減益となりました。

<不動産業、その他の事業>

不動産業は、前年同期比で減収減益となりました。

その他の事業は、燃料油価格低下に伴い燃料油販売事業の利益水準が低下し、船用品・船用資材販売事業も低調に推移しました。客船事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前年同期より乗船率が回復しました。その結果、その他の事業全体では前年同期比で減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、船舶を中心とする有形固定資産の増加や、ONE社をはじめとする持分法適用会社の利益計上に伴う投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,421億円増加し、4兆189億円となりました。為替影響による借入金の増加等により有利子負債は310億円増加して7,251億円となり、負債合計額も前連結会計年度末に比べ784億円増加し1兆3,302億円となりました。純資産の部では、利益剰余金が275億円増加し、株主資本とその他の包括利益累計額の合計である自己資本が2兆6,471億円となり、これに非支配株主持分415億円を加えた純資産の合計は2兆6,887億円となりました。これらにより、有利子負債自己資本比率(D/Eレシオ)は0.27に、また自己資本比率は65.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首残高比476億円減少し、1,486億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,776億円、減価償却費684億円、持分法による投資損益△591億円、利息及び配当金の受取額1,280億円などにより2,542億円(前年同期2,954億円)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、船舶を中心とする固定資産の取得及び売却などにより△1,345億円(前年同期△1,424億円)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払い、自己株式の取得などにより△1,734億円(前年同期△2,608億円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①連結業績予想

定期船事業では、前回予想よりも輸送需要の回復が遅れ、更に回復幅も縮小することで利益水準は低下する見込みです。なお、2023年11月15日に、当社の持分法適用会社であるONE社より、剰余金の配当として約80百万ドル(約120億円)を受領予定です。換算レートは1米ドル149.58円で計算しています。本件に伴い、当社は2024年3月期第3四半期の個別決算において、当該配当金を営業外収益に計上する見込みです。持分法適用会社からの配当であるため、2024年3月期第3四半期の連結業績に与える影響はありません。

航空運送事業では、軟調な市況が第3四半期以降も継続する見通しです。なお、2023年9月26日付の適時開示の通り、2024年2月1日を効力発生日（予定）として、日本貨物航空株式会社は当社連結子会社から除外され、ANAホールディングス株式会社の完全子会社となります。

物流事業では、航空貨物取扱事業及び海上貨物取扱事業は、引き続き需要の低迷による市況下落の影響を受け、前回予想比で利益水準は低下する見込みですが、ロジスティクス事業は北米域内及び欧州域内を中心とした需要に支えられ、堅調に推移する見通しです。

不定期専用船事業について、自動車事業部門では、半導体等部品不足の解消による完成車生産台数の回復が顕著であり、販売需要も好調を維持していることから、引き続き強い輸送需要を想定しています。

ドライバルク事業部門では、中国経済の先行きに不透明感が残るものの、下期以降は概ね前回予想通りの市況推移を見込みます。

エネルギー事業部門では、VLCCの市況は輸送需要の見直しにより前回予想を下回るものの、VLGCは第3四半期以降も米国からアジア地域への長距離輸送をはじめとする活発な荷動きが継続し、市況は前回予想を上回る見込みです。またLNG船は中長期契約による安定収益に支えられ、堅調に推移する見通しです。

以上に鑑み、通期の業績予想を以下のとおり見直しました。

(単位：億円)

2024年3月期 連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回 (2023年8月3日)	21,700	1,460	2,200	2,200
今回予想	22,800	1,650	2,350	2,200
通期 増減額	1,100	190	150	0
増減率 (%)	5.1%	13.0%	6.8%	0.0%

業績予想の前提：

為替レート（第3四半期連結会計期間）145.00円/US\$、（第4四半期連結会計期間）142.00円/US\$、（通期）141.72円/US\$

燃料油価格 ※（第3四半期・第4四半期連結会計期間）US\$624.00/MT、（通期）US\$614.20/MT

※ 適合油を含む全油種平均消費燃料油価格を基に算出

②配当予想

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向30%を目安とし、1株当たりの配当下限金額を年間100円とする株主還元方針を設定しています。この方針に基づき、当事業年度の間配当金は前回予想の通り60円とします。また期末配当金も前回予想から据え置き70円、年間配当金を130円とする予定です。また自己株式の取得については、株式の取得価額の総額（上限）を2,000億円、取得する株式の総数（上限）を85百万株、株式取得期間を2023年8月4日から2024年4月30日として実施することを決定し、2023年9月末時点までに17,000,100株を取得完了しています。取得した自己株式は全株消却する予定です。なお、当事業年度の配当金は、上記の自己株式取得実施前の株式数に基づくものです。

今後も投資機会と事業環境を勘案し、機動的な追加還元を検討していきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	204,817	157,827
受取手形、営業未収入金及び契約資産	337,702	340,829
棚卸資産	57,593	68,122
繰延及び前払費用	30,897	33,865
その他	91,693	88,973
貸倒引当金	△2,562	△2,719
流動資産合計	720,142	686,899
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	637,257	702,860
建物及び構築物（純額）	143,069	144,810
航空機（純額）	98,573	94,501
機械装置及び運搬具（純額）	32,311	28,032
器具及び備品（純額）	7,536	7,866
土地	89,882	74,564
建設仮勘定	126,324	190,551
その他（純額）	8,795	9,075
有形固定資産合計	1,143,751	1,252,265
無形固定資産		
借地権	5,365	5,570
ソフトウェア	8,390	8,944
のれん	13,712	16,872
その他	13,923	13,014
無形固定資産合計	41,392	44,402
投資その他の資産		
投資有価証券	1,688,380	1,832,858
長期貸付金	27,642	44,563
退職給付に係る資産	88,404	88,258
繰延税金資産	9,120	6,318
その他	62,947	68,763
貸倒引当金	△5,174	△5,641
投資その他の資産合計	1,871,320	2,035,119
固定資産合計	3,056,464	3,331,787
繰延資産	190	273
資産合計	3,776,797	4,018,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	206,153	219,614
1年内償還予定の社債	10,000	33,000
短期借入金	73,581	65,030
リース債務	26,412	21,254
未払法人税等	17,914	19,929
契約負債	50,562	53,713
賞与引当金	20,736	18,399
役員賞与引当金	617	307
株式給付引当金	241	111
契約損失引当金	146	1,622
その他	92,668	111,373
流動負債合計	499,034	544,358
固定負債		
社債	87,000	74,000
長期借入金	422,691	456,281
リース債務	74,406	75,586
繰延税金負債	71,676	92,446
退職給付に係る負債	15,302	15,718
役員退職慰労引当金	862	806
株式給付引当金	54	99
特別修繕引当金	20,892	22,856
契約損失引当金	8,883	8,918
事業再編関連引当金	256	278
その他	50,741	38,893
固定負債合計	752,769	785,887
負債合計	1,251,803	1,330,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,319	144,319
資本剰余金	44,897	44,897
利益剰余金	2,018,915	2,046,486
自己株式	△3,793	△69,570
株主資本合計	2,204,338	2,166,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,909	53,403
繰延ヘッジ損益	6,583	10,316
為替換算調整勘定	207,437	392,244
退職給付に係る調整累計額	27,371	25,089
その他の包括利益累計額合計	274,302	481,053
非支配株主持分	46,352	41,527
純資産合計	2,524,993	2,688,714
負債純資産合計	3,776,797	4,018,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,365,878	1,168,335
売上原価	1,100,184	950,173
売上総利益	265,693	218,162
販売費及び一般管理費	102,356	119,375
営業利益	163,336	98,786
営業外収益		
受取利息	1,783	2,452
受取配当金	9,033	4,583
持分法による投資利益	572,610	59,198
為替差益	20,049	—
その他	7,655	5,864
営業外収益合計	611,132	72,098
営業外費用		
支払利息	7,226	6,718
為替差損	—	2,766
その他	1,912	2,103
営業外費用合計	9,138	11,588
経常利益	765,329	159,297
特別利益		
固定資産売却益	3,678	8,520
関係会社株式売却益	1,151	8,514
その他	3,109	3,083
特別利益合計	7,938	20,117
特別損失		
固定資産売却損	17	21
固定資産除却損	229	717
契約損失引当金繰入額	—	500
その他	22,394	531
特別損失合計	22,641	1,771
税金等調整前四半期純利益	750,627	177,643
法人税等	35,452	60,518
四半期純利益	715,175	117,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,116	3,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	706,058	113,390

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	715,175	117,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	528	20,449
繰延ヘッジ損益	△3,351	△1,341
為替換算調整勘定	31,396	31,669
退職給付に係る調整額	△2,622	△2,282
持分法適用会社に対する持分相当額	209,685	161,325
その他の包括利益合計	235,637	209,819
四半期包括利益	950,812	326,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	939,676	320,960
非支配株主に係る四半期包括利益	11,135	5,984

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	750,627	177,643
減価償却費	57,956	68,460
減損損失	18,810	154
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	△3,431	△7,780
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,322	△9,421
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	—	0
持分法による投資損益 (△は益)	△572,610	△59,198
受取利息及び受取配当金	△10,816	△7,035
支払利息	7,226	6,718
為替差損益 (△は益)	△11,137	2,875
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△24,662	1,007
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,995	△10,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,023	6,238
その他	△14,535	11,770
小計	188,132	181,319
利息及び配当金の受取額	142,612	128,009
利息の支払額	△6,725	△6,901
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△28,612	△48,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,407	254,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△109,907	△116,272
有形及び無形固定資産の売却による収入	8,263	23,771
投資有価証券の取得による支出	△21,355	△18,790
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,431	6,337
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,172
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	4,278	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,900	15,725
貸付けによる支出	△2,100	△17,773
貸付金の回収による収入	3,499	2,492
その他	△35,460	△28,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,450	△134,572

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	55,473	△241
長期借入れによる収入	11,840	18,228
長期借入金の返済による支出	△68,024	△28,851
社債の発行による収入	—	19,885
社債の償還による支出	△30,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△11,545	△14,715
自己株式の取得による支出	△1,522	△66,018
自己株式の売却による収入	2,949	241
配当金の支払額	△211,935	△86,467
非支配株主への配当金の支払額	△8,388	△4,975
その他	326	△558
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,827	△173,472
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,688	6,166
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△97,181	△47,621
現金及び現金同等物の期首残高	226,694	196,231
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び 現金同等物の期首残高増減額 (△は減少)	173	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	129,686	148,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

(子会社株式の株式交換)

当社は、第1四半期決算短信の重要な後発事象注記に記載のとおり、ANAホールディングス株式会社(以下、「ANAHD」)を株式交換完全親会社、当社連結子会社である日本貨物航空株式会社(以下、「NCA」)を株式交換完全子会社とする株式交換(以下、「本株式交換」)の準備を進めていますが、その実行時期に変更が生じることとなりました。

1. 変更理由

本株式交換は、各国・地域の競争法当局による審査の完了等を実行の前提としていますが、手続き等に要する期間を勘案し、実行時期を下記のとおり変更しました。なお、当社、NCA及びANAHDともに、本株式交換を実行する方針に変更はありません。

2. 変更内容

	変更前	変更後
本株式交換の効力発生日	2023年10月1日	2024年2月1日(予定)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			不定期 専用船 事業	その他事業		計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		不動産業	その他の 事業			
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	98,642	118,030	472,794	616,274	1,709	58,427	1,365,878	—	1,365,878
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,634	5,872	1,698	141	20	66,793	77,162	△77,162	—
計	101,277	123,903	474,493	616,416	1,730	125,220	1,443,040	△77,162	1,365,878
セグメント利益 又は損失(△)	566,654	43,953	37,154	118,570	831	1,473	768,637	△3,307	765,329

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整19百万円、全社費用△3,327百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			不定期 専用船 事業	その他事業		計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	定期船 事業	航空運送 事業	物流事業		不動産業	その他の 事業			
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	108,808	74,572	337,414	592,193	1,556	53,789	1,168,335	—	1,168,335
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,916	3,284	1,278	648	—	52,998	61,126	△61,126	—
計	111,724	77,856	338,693	592,842	1,556	106,788	1,229,462	△61,126	1,168,335
セグメント利益 又は損失(△)	46,745	335	13,740	103,107	791	144	164,866	△5,568	159,297

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整3百万円、全社費用△5,572百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(測定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、各セグメントに帰属する利息額等の算定方法を変更しています。各セグメントの売上高及び四半期連結損益計算書計上額に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しています。

3. その他の情報

(1) 四半期毎の業績の推移

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	自 2023年7月1日 至 2023年9月30日	自 2023年10月1日 至 2023年12月31日	自 2024年1月1日 至 2024年3月31日
売上高	百万円 567,515	百万円 600,819	百万円	百万円
営業損益	47,103	51,683		
経常損益	89,403	69,893		
親会社株主に帰属する 四半期純損益	73,490	39,899		
総資産	3,950,363	4,018,960		
純資産	2,637,096	2,688,714		

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	自 2022年7月1日 至 2022年9月30日	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日	自 2023年1月1日 至 2023年3月31日
売上高	百万円 673,050	百万円 692,827	百万円 684,320	百万円 565,867
営業損益	89,174	74,162	86,067	46,946
経常損益	377,726	387,603	240,635	103,824
親会社株主に帰属する 四半期純損益	343,377	362,681	214,313	92,151
総資産	3,504,816	3,938,103	3,754,637	3,776,797
純資産	2,028,845	2,487,650	2,441,785	2,524,993

(注) 上記各四半期毎の業績(売上高・営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する四半期純損益)は、第1四半期連結累計期間、6ヶ月間累計(第2四半期連結累計期間)、9ヶ月間累計(第3四半期連結累計期間)、12ヶ月間累計(通期)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しています。

(2) 為替情報

	前第2四半期 (2022年9月期)	当第2四半期 (2023年9月期)	差額	前期 (2023年3月期)
期中平均レート	131.56円/US\$	139.93円/US\$	8.37円 円安	135.07円/US\$
期末レート	144.81円/US\$	149.58円/US\$	4.77円 円安	133.53円/US\$

(3) 有利子負債残高

(単位：百万円)

	前期 (2023年3月期)	当第2四半期 (2023年9月期)	増減
借入金	496,273	521,312	25,039
社債	97,000	107,000	10,000
リース債務	100,818	96,841	△3,977
合計	694,091	725,154	31,062